

待ちに待った給食
ごはん 大根汁
きのこ信田煮
野菜ソテー

ほぼ日刊 夢の華 C^カa^ラr^ッa^ト

第743号

神町中学校 夢色通信社
令和2年10月22日

文化発表会

午前8時、開会のあいさつ（荒木佑太くん）「クラスごとに磨いてきたものを、十分に発揮できるように頑張りましょう。」で、東根市立神町中学校の文化発表会が幕を開ける。今年のスローガンは

『心響曲（シンフォニー） ～心頼できる仲間と共に～』である。心に響く合唱にしたいという願いと、どんなことでも心から頼れる仲間と共に乗り越えようという決意がつまったスローガンである。さっそく、全校制作が披露される。3年の小松青空さんと杉山侑歌子さんが練りに練ってつくった原画をもとに、全員で創った絵である。全校制作係として活動をしてきた原田聖斗くん（1年）は、「小学校の委員会活動とは、大変さが全く違った。話し合ったらすぐに行動をうつすのが中学校で、大変だったけど僕も中学生になったんだと思った。全員が協力しないと完成しないということもわかった。」と話してくれた。



その後、先発隊と後発隊に分かれ「県民ホール」に移動する。先発隊として「県民ホール」で合唱練習を行った藤野心晴さん（3年）は、「県民ホールはとてもきれいだった。練習室での練習も楽しくて良かった。」と話してくれた。



12時29分、ブザーとともに「ただ今より、合唱コンクールを進行します。」のアナウンス（鈴木綾音くん 工藤颯太くん）が流れ、合唱コンクールが始まった。鈴木陽太くん（3年）は「中間発表会がグダグダだったので、大きく成長できたと思います。練習してきた成果は出せました。会場が広くて、ステージに立った時は足が震えました。」と本番を振り返ってくれた。須藤真央さん（2年）は、「響くステージで、中間発表会よりもきれいなハーモニーで歌えた。会場は、天井が高く木もたくさん使われていてきれいだった。」と、高橋心結さん（3年）は「目の前に客席が広がっていてびっくりした。いつもと違う感じで特別感があって楽しかった。中間発表会より緊張しませんでした。」と話してくれた。初めての合唱コンクールとなった幸山優月さん（1年）は、「先輩たちの合唱は、ハーモニーがきれいでした。気持ちがそろっているのだと感じました。1年生は、まだまだでした。」話してくれた。

合唱コンクールが終わり、閉祭式では各係の係長からあいさつがあり、閉会のあいさつ（高橋一粋くん）「各クラス、素晴らしい合唱でした。これから3年生は受験に、1・2年生は次の目標に向かい、学校生活をがんばっていきましょう。」で、文化発表会は幕を閉じた。合唱コンクールで指揮者を務めた大越輝くん（3年）は、「楽しかった。ホール中に客席が広がっていて、指揮者としてみる景色は最高でした。」と口にしなから、会場を後にした。

